

ダイジェスト版

日本経済を支える公認会計士

高崎経済大学 キャリア支援センター

2015年6月10日

公認会計士・監査審査会
常勤委員 廣本 敏郎

日本再興戦略と公認会計士

2014年6月24日に閣議決定されました。

「日本再興戦略」改訂 2014
— 未来への挑戦 —

平成 26 年 6 月 24 日

(3) 新たに講ずべき具体的施策

金融・資本市場の活性化、公的・準公的資金の運用等の見直しとともに、今後の改革の方向性が示されたところであり、これらを踏まえ、改革を着実に進めていく。

i) 金融・資本市場の活性化

有識者会合の提言等を踏まえ、アジアの成長も取り込みつつ、証券市場の活性化や資産運用市場の強化を図ること等により、アジアナンバーワンの金融・資本市場の構築を目指す。

①国際金融センターとしての地位確立とアジアの潜在力発揮

⑤企業の競争力強化に向けた取組

- ・より良いコーポレートガバナンスを導く環境整備として、収益性やコーポレートガバナンス等に着目して選定された企業で構成されたJPX日経インデックス400について、先物の早期上場を支援するなど普及・定着のための積極的な取組を促す。
- ・国際協力銀行（JBIC）の「海外展開支援融資ファシリティ」を本邦企業の収益力向上に資する案件に重点化するとともに、新たな融資手段として、①「劣後ローン」、②「LBOファイナンス」を導入する。【再掲】
- ・私的整理を含め、企業再生に関する法制度や実務運用の在り方を見直す。【再掲】
- ・監査の質の向上、公認会計士資格の魅力の向上に向けた取組を促進する。



目指せ、公認会計士!

～ 公認会計士試験にチャレンジしてみませんか ～



公認会計士・監査審査会

Certified Public Accountants and Auditing Oversight Board



金融庁

Financial Services Agency

1 公認会計士とは？



資本市場の番人として、企業等の財務情報の信頼性を確保し、投資家等を保護しています。

企業が作成する決算書の検証

金融・資本市場のグローバル化、企業の海外展開等に伴い、活動フィールドは世界に広がっています。

グローバル経営戦略の策定

海外子会社を含むグループ決算



Global Mission

公認会計士 (CPA)

Certified Public Accountant

Professional

監査・会計の専門家として、高度な専門知識を活かし、多様なニーズに応じて専門的な視点から助言・指導を行っています。

株式公開支援

M&A

相続再編



「会計なくして経済なし」

公認会計士は、グローバル化が急速に進む日本経済の健全な発展のために、監査人、コンサルタント、組織内会計士など、経済社会のさまざまな局面で、きわめて重要な役割を果たすべく幅広く活躍しています。

公認会計士の使命

公認会計士は、国家試験である公認会計士試験に合格した者だけに与えられる資格であり、公認会計士法にその使命等が規定されています。

《公認会計士法第1条》

公認会計士は、監査及び会計の専門家として、独立した立場において、財務書類その他の財務に関する情報の信頼性を確保することにより、会社等の公正な事業活動、投資者及び債権者の保護等を図り、もって国民経済の健全な発展に寄与することを使命とする。

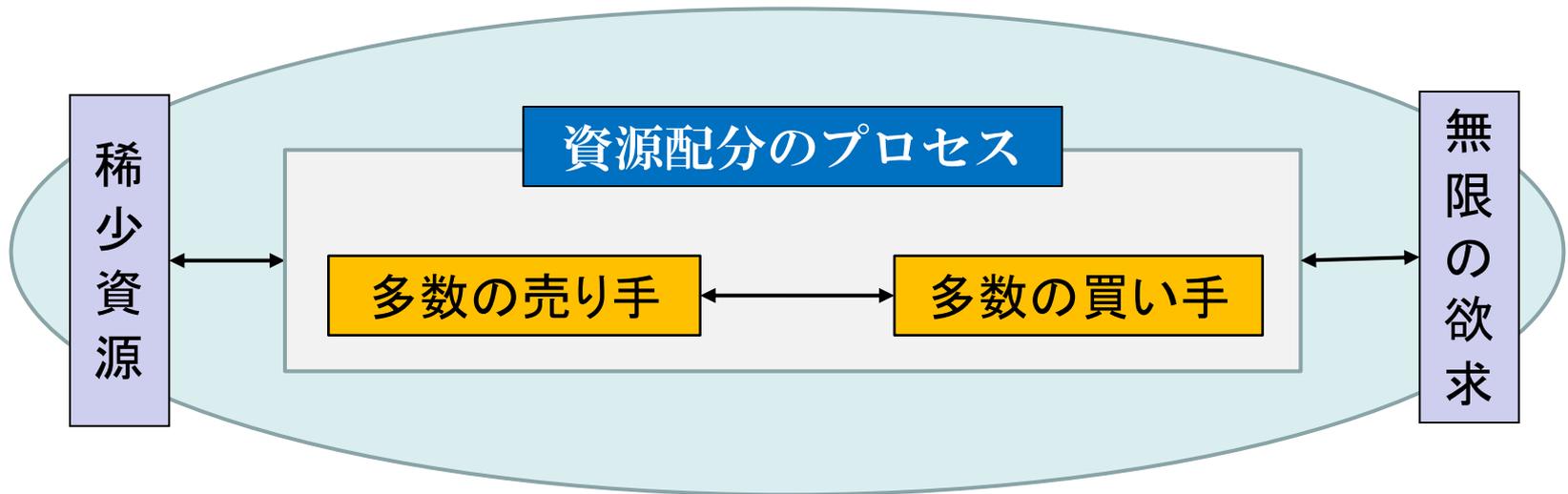


市場経済と会計

企業経営における会計の意義と重要性

市場経済の制度

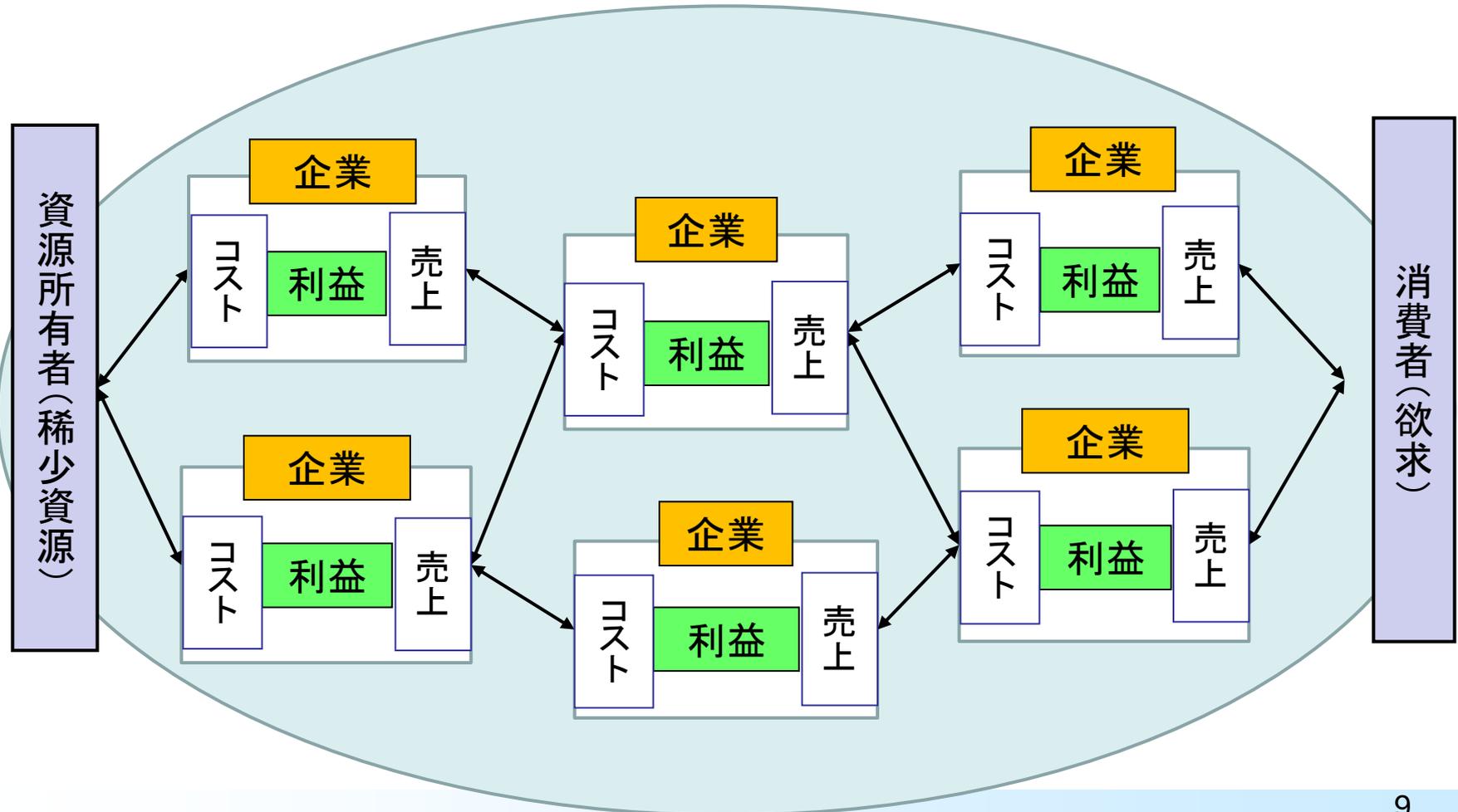
—市場参加者の自由競争—



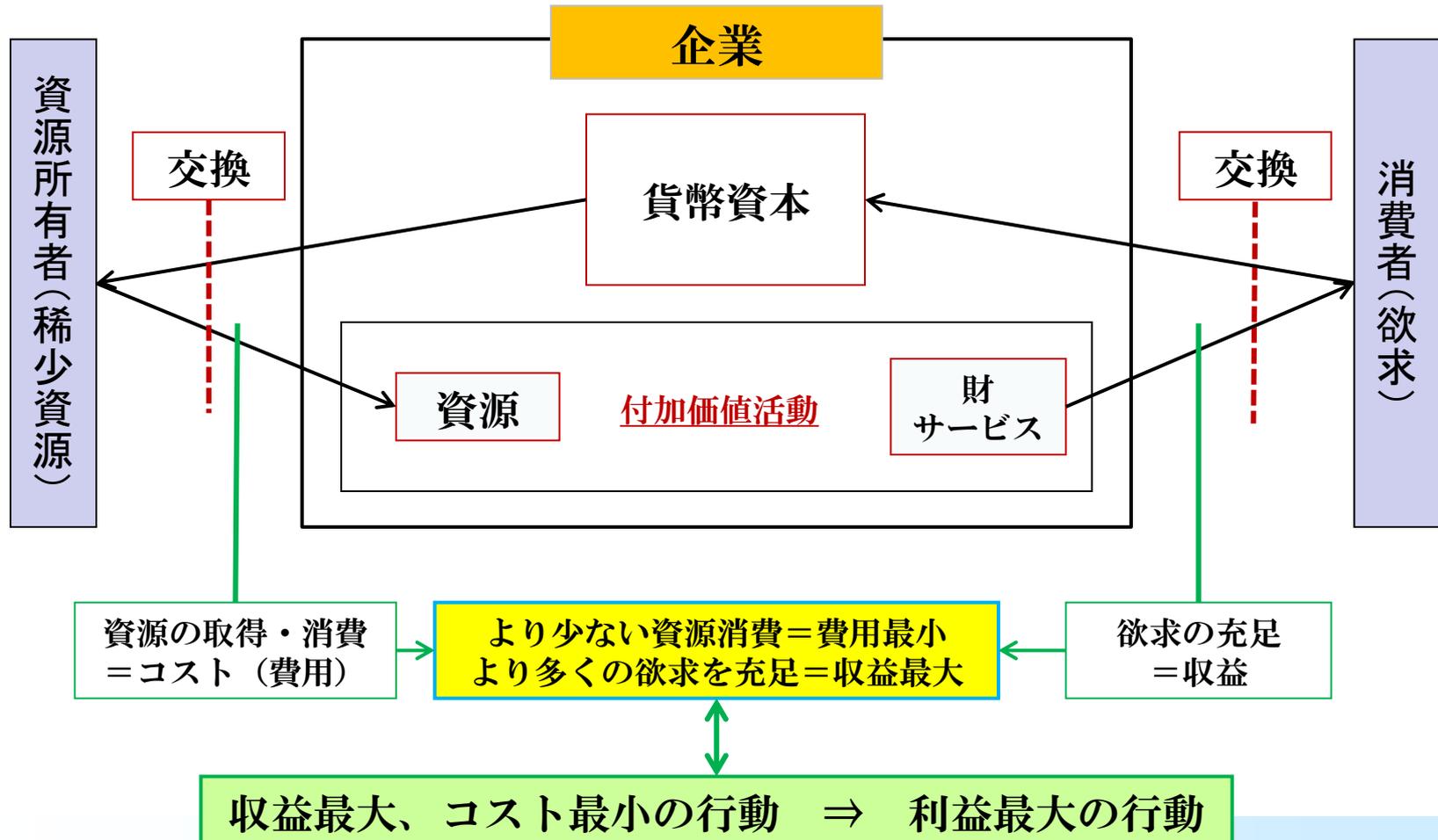
奪い合いでも恣意的な配分でもなく、
売り手と買い手の対等な交換取引による配分

会計なくして経済なし

～企業の行動原理「売上最大、コスト最小」～



会計による企業活動の見える化



簿記会計を巡る金言

- ・ 商売をやってゆくのに、広い視野を与えてくれるのは、複式簿記による整理だ。整理されていればいつでも全体が見渡される。細かいことでもまごまごする必要がなくなる。複式簿記が商人に与えてくれる利益は計り知れない。
 - 人間の精神が生んだ最高の発明の1つだね。立派な経営者は誰でも経営に複式簿記を取り入れるべきなんだ。」

【ゲーテ『ヴィルヘルム・マイスターの修業時代』より】

(坂本孝司『簿記・会計先覚者の金言集・解説』TKC出版、2013年、14頁)

簿記会計を巡る金言（続）

- ・ 複式簿記抜きでは資本主義を考えることは到底できない。資本主義と複式簿記は互いに形式と内容のように振る舞うのである。
 - 複式簿記の意義を余すところなく評価しようとするなら、16世紀以降の思想家たちが自然界の諸関係に関して整備してきた「知見」と対比してみる必要がある。複式簿記は、ガリレイやニュートンの体系、現代の物理や化学の学説と同じ精神から生まれたのである。

【ゾンバルト『近代資本主義』より】

（坂本、前掲著、30-31頁）

アダム・スミスが描いた市場経済

- 経済の世界は、「自分自身の境遇を改善せんとする欲望」によって導かれている世界である…利己心というものが経済という世界の原動力である…
- (しかし) スミスによると、この利己心というものは、めいめいが何でも勝手放題なことをしてよろしいというのではなく、そこに一つの社会性がなければならないということになっている。社会的な枠のない、無軌道な、勝手気ままな欲望の追求というものは、人間の行為でもなければモラルでもない。

(高島善哉『アダム・スミス』岩波新書、1968年、76頁)

理 念

～渋沢栄一とアダム・スミス～

- 渋沢栄一は、利潤追求をめざす経済行為の中にも道徳が必要なことを悟っていた。渋沢の道徳経済合一論は、古典派経済学の始祖アダム・スミスの教えに共通するものがある。
 - － 渋沢は、「道徳経済合一説」と題して行った演説の中で、アダム・スミスとの関係について、次のように述べている。

渋沢栄一とアダム・スミス（続き）

- ・「経済学の祖英人アダム・スミスは、グラスゴー大学の倫理哲学教授であって、同情主義（sympathy 同感）の倫理学を起こし、次いで有名なる富国論を著して、近世経済学を起こしたということである…利義合一は東西両洋通ずる不易の原理であると信じます」

（木村昌人『渋沢栄一』中公新書、1991年、9-10頁）

実践

～京セラの経営と京セラ会計学～

- ・ 資本主義社会は、利益を得るためなら何をして
もいい社会ではない。参加者全員が社会的正義
を必ず守るという前提に築かれた社会なのであ
り、厳しいモラルがあってこそ初めて、正常に
機能するシステムなのである。
 - 社会正義が尊重され透明性の高い社会が築か
れてこそ、市場経済は社会の発展に貢献でき
るようになる。そのためには、まず資本主義
経済を支えている経営者が高い倫理観を持ち、
すべての企業がフェアで公明正大な経営を実
践していく必要がある。

(続く)

京セラの経営と京セラ会計学（続）

- ところが残念なことに人間はつねに完全ではない。
 - いくら立派なことを言っているとしても、誘惑にかられ、魔が差してしまうかもしれない。不正を犯してしまうかもしれないのである。このことは不祥事を起こした人々を調べればよくわかる。誰も最初から不正や犯罪を犯そうと思っていたわけではない。
 - この意味で私は会計の果たす役割はきわめて大きいと考えている。 （続く）

京セラの経営と京セラ会計学（続）

- なぜなら会計において万全を期した管理システムが構築されていれば、人をして不正を起こさせず、また、万が一不正が発生しても、それを最小限のレベルにとどめることができるからである。
 - そのための管理システムは決して複雑で最先端なものである必要はない。人間として普遍的に正しいことを追究するという経営哲学がベースにあれば「一対一の対応」「ガラス張りの経営」「ダブルチェック」などの原則に基づく、シンプルでプリミティブなシステムで十分なのである。

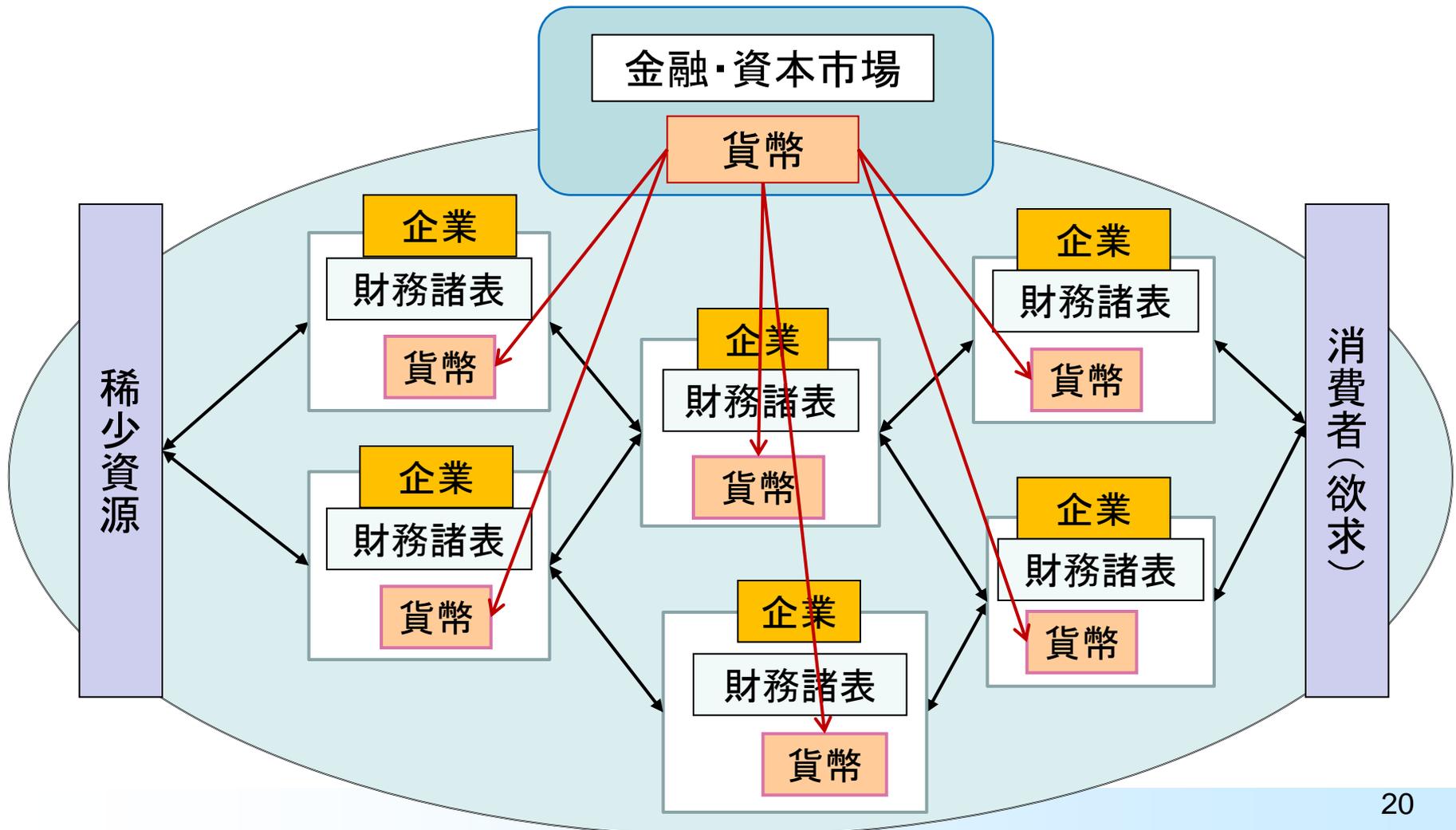
（稲盛和夫『稲盛和夫の実学』161-162頁）

市場経済と会計

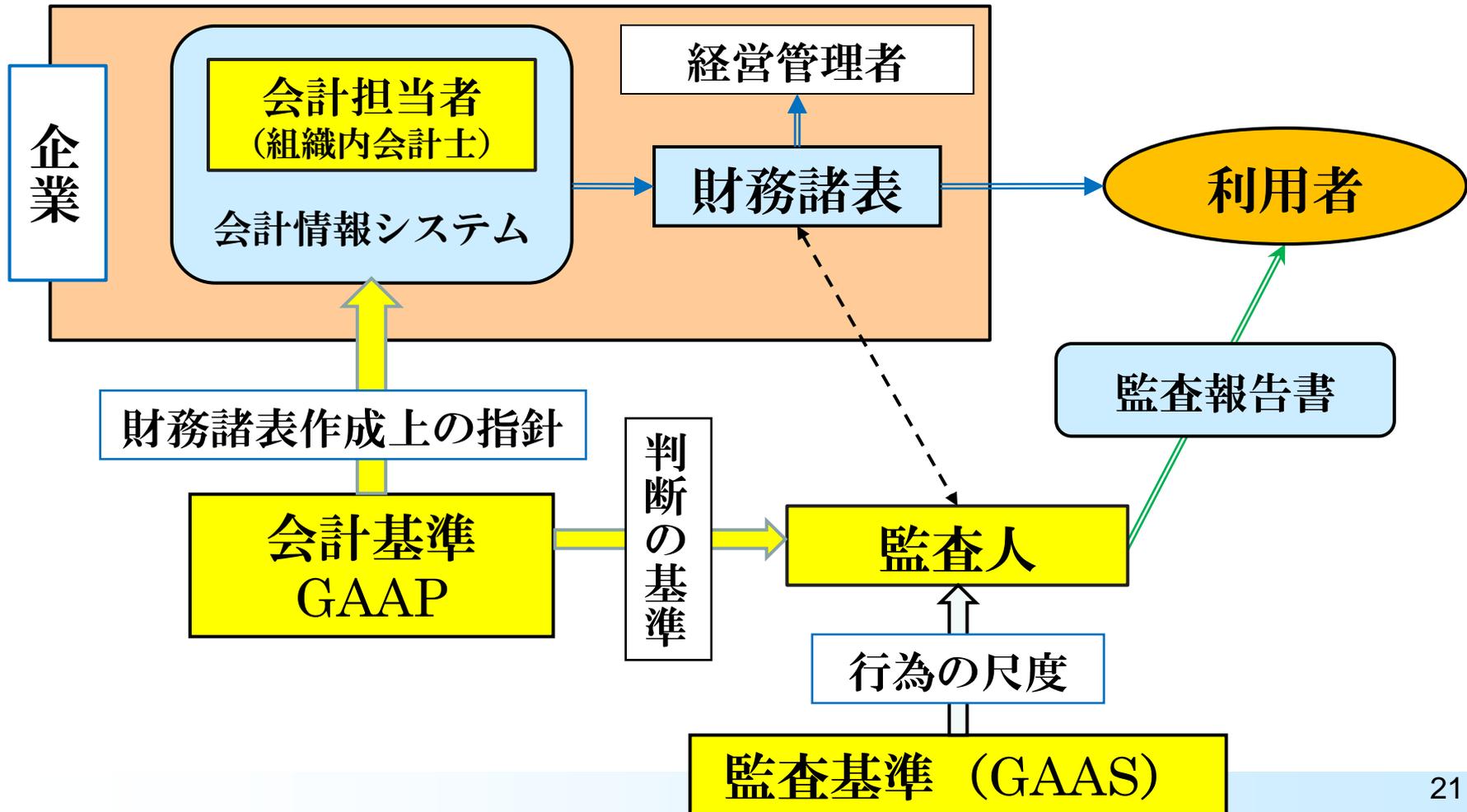
金融・資本市場における公認会計士の役割

実体経済を支える金融・資本市場

～国民経済における資金の有効かつ効率的配分～



財務情報の信頼性確保のシステム



金融・資本市場の公正性・透明性の確保

- 日本の経済成長には、日本全体で資金が目詰まりを起こすことなく、成長分野に円滑な資金供給がなされるよう、直接金融部門、間接金融部門の金融セクターがともに適切に役割を果たしていく必要がある。
 - 直接金融市場を活性化させるためには、企業の収益力を向上させるとともに、わが国金融資本市場の公正性や透明性の確保を図っていくことが必要であり、市場で提供される金融商品の品質を確保していくことが重要である。

(続く)

金融・資本市場の公正性・透明性の確保（続）

- そのためには、企業の財務諸表をはじめとする財務情報の開示の適正性を確保していくことが肝要である。
 - 適正な財務情報の開示については、作成者である企業経営者に一義的な責任があるものの、公認会計士監査の役割はきわめて重大である。

（金融庁長官・細溝清史「企業会計・監査をめぐる最近の動向」
会計・監査ジャーナル、2015年4月号、2頁）

活躍する公認会計士

朝日新聞「不正 会計士は見た」

- 企業のお金の流れをチェックする公認会計士の2人に1人が、業績や資産状況をごまかそうとする担当企業の「不正」を一度は発見したことがある——。こんな調査結果を日本公認会計士協会が14日発表した。監視役がいなければ、粉飾決算などが広がるおそれがあることを示している。

(平成26年4月15日朝刊より)

公認会計士・試験合格者の活躍フィールド

～広がる未来・無限の可能性～



金 融 庁
日本公認会計士協会

公認会計士・試験合格者の様々なキャリアパス

～ 社会の様々な場面で活躍する「会計人」になる ～

公認会計士＝監査法人勤務とイメージされる方が多いと思います。

しかし、監査業界に限らず、社会の様々な場面で会計専門家の知識・経験・判断力が必要とされています。

一般企業等における実務経験も、公認会計士資格の取得要件として認められています。

あなたも、より広い視野を持って、将来のキャリアパスについて考えてみませんか？

～ 会計専門家の専門的知識が求められる分野の例 ～

事業会社

- ・ 経理・原価管理
- ・ 財務コンサルティング
- ・ 連結決算への対応

金融機関

- ・ 融資業務
- ・ 資金管理・運用
- ・ 事業再生

官公庁

- ・ 金融機関の検査
- ・ 国・地方公共団体の財政支出に対する監査
- ・ 地方公共団体の財務状況の分析

**これからの4年間、
充実した大学生生活を送ってください！**

公認会計士審査会 廣本敏郎